

事業報告書

本年度は、法人設立 50 周年にあたり 10 月 20 日泉の森ホールにおいて記念式典を開催、これまで支えてくれた方々に表彰状・感謝状を贈呈するとともに、タレントの島田洋七さんの記念講演では会場が大きな笑いに包まれた。

国が目指す“我が事”“丸ごと”地域共生社会に向けて、本会における総合相談体制の構築を目指し、職員研修として中学校区単位でエリア会議を実施し、地域の課題や特性、社会資源等の地域分析と共有を行った。

大西町に設置したサテライト事務所は誰もが参加できる喫茶スペース・ボランティアや関係機関、一般の人でも使える貸会議室を設置した。市内の事業所やボランティア等に呼びかけ、初の「掘り出し市」を開催し、たくさんの人で賑わった。

また、9 月 4 日に上陸した台風 21 号では、家屋の損壊や停電など市内でも多くの被害を受けたため、同月 6 日には「社協災害ボランティアセンター」を開設し、19 日間で市内外から 112 名のボランティアに駆けつけていただき、瓦礫の撤去や災害ゴミ置き場への搬送等の支援を行うことができた。

本年度の新規事業として、介護保険法に基づく第 1 層生活支援コーディネーター 1 名を配置し高齢者の社会参加促進及び生活支援に努めた。

ボランティア事業においては、サロン・ド・ボランティアを核とし活動の需給調整を行い、市内の事業所や行政が実施する行事へ多くのボランティアを紹介することができた。第 7 回を迎えた「ボランティアフェスティバル」については、昨年度に続き商業施設「いこらも〜る」駐車場で開催し一般客約 300 名の参加があった。

地域福祉事業については、市内 14 地区福祉委員会に従来から地区担当職員を配置し、地区福祉委員会活動への指導・援助を行いコミュニティカフェが徐々に増えてきている。

地域包括事業においては、高齢者が地域で安心して生活が続けられるよう、総合相談・権利擁護業務、介護支援専門員に対する個別支援、要支援者・事業対象者に対する介護予防プランの作成、認知症サポーターの養成講座や支援等を保健・医療・介護の福祉分野の連携を図り実施した。

基幹相談事業においては、相談事業所や関係機関との連携を図り、障がい者が安心して暮らせる街づくりを目指し、障がい者虐待防止センター業務、権利擁護支援センター業務、障害者支援区分認定調査業務、田尻町への出張相談を実施した。また、障がいの有る無しにかかわらず、ともに参加できる大運動会を昨年を引き続き実施し、市関係課・民児協障がい福祉部会・社協ボランティアの協力と、全日本空輸関西空港支店の社会貢献もあって盛大に実施することができた。

有償協力員派遣事業においては、運営委員会や協力員連絡会を開催し相互の連携を深め、依頼件数も年々増加してきている。

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)事業においては、毎月1回連絡会を開催し、委託先法人CSWとの情報の共有や資質向上を図った。

福祉センター管理事業においては、安心・安全に利用できるよう適正な施設管理に努めるとともに利用促進が図られるようふれあい交流会を2回開催した。

また、自主財源の確保のため、引き続き会員会費募集に努め、10月からの赤い羽根共同募金では関係役職員ならびに佐野支援学校の協力で街頭で募金を呼びかけた。

泉佐野市民生委員児童委員協議会の運営については、引き続き連携を密にし事務局として支援した。

高齢者・障がい者等社会的弱者の方々にも住みよい地域福祉の推進に関係者・関係機関と連携し以下のとおり取り組んだ。

〔1〕法人運営関係

法人の運営を円滑にするため下記の会議、研修会を開催した。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------------|
| (1) 定例理事会の開催 | 10回 |
| (2) 三役会の実施 | 5回 |
| (3) 定例評議員会の開催（書面決議含む） | 4回 |
| (4) 監査の実施 | 1回 |
| (5) 評議員選任・解任委員会の開催 | 4回 |
| (6) 法人設立50周年福祉大会の開催 | 1回 |
| 開催日 | ／ 平成30年10月20日（土） |
| 内 容 | ／ 記念講演 「元気！勇気！やる気！」
講師：島田 洋七 氏 |
| 場 所 | ／ エブノ泉の森ホール大ホール |
| 参加者 | ／ 634名 |
| (7) 理事・監事・地区福祉委員会合同研修会の開催 | 1回 |
| 開催日 | ／ 平成31年1月12日（土） |
| 内 容 | ／ 全国校区・小地域活動サミット in 豊中 |
| 場 所 | ／ 豊中市文化芸術センター他 |
| 参加者 | ／ 22名 |
| (8) 職員研修の実施 | 1回 |
| 開催日 | ／ 平成31年3月30日（土） |
| 内 容 | ／ 報・連・相 研修 |
| 講 師 | ／ 株式会社トゥルース 大懸 真弓氏 |
| 場 所 | ／ 社会福祉センター 大会議室 |
| 参加者 | ／ 役職員 28名 |

〔2〕地域福祉事業の推進

平成7年度より取り組んでいる『小地域ネットワーク活動』は市内すべての地区で一人暮らし高齢者や高齢者・障がい者世帯等への個別支援活動や、町内会館等でのふれあいいいきサロン活動や子育てサロン、世代間交流会などが積極的に開催された。

平成25年度から継続して行っている、「地域の暮らしを話す会」については、各地区福祉委員会を単位として開催し、地域の問題の把握や、課題解決に向けた話し合いの場の設定を行うことができた。そのことによって、対象者や時間内の出入りを限定しない、「コミュニティカフェ」型のいきいきサロン活動が増えるなど、新たな活動の広がりもみられている。また、今年度の「地域の暮らしを話す会」は、9月の台風21号被害を受けての各地域での取り組みを住民同士で振り返る機会にもなり、各地区において今後の取り組みについての話し合いも行われた。

1. 小地域ネットワーク活動地区の指定

《7年度～》	(1) 日新地区福祉委員会連合会・・・〔4支部〕
	(2) 佐野台地区福祉委員会・・・〔4支部〕
	(3) 北中地区福祉委員会・・・〔3支部〕
	(4) 三小地区福祉委員会・・・〔3支部〕
	(5) 末広地区福祉委員会・・・〔6支部〕
《8年度～》	(6) 一小地区福祉委員会・・・〔8支部〕
《9年度～》	(7) 長滝地区福祉委員会・・・〔5支部〕
《10年度～》	(8) 上之郷地区福祉委員会・・・〔7支部〕
《11年度～》	(9) 大土地地区福祉委員会・・・〔2支部〕
《12年度～》	(10) 長坂地区福祉委員会・・・〔8支部〕
《13年度～》	(11) 日根野地区福祉委員会・・・〔9支部〕
《14年度～》	(12) 南中地区福祉委員会・・・〔4支部〕
	(13) 中央地区福祉委員会・・・〔6支部〕
《15年度～》	(14) 二小地区福祉委員会・・・〔9支部〕

2. 連絡会の開催

- | | |
|-------------------|----|
| (1) 地区福祉委員会連絡会の開催 | 4回 |
| (2) 支部連絡会の開催 | 1回 |

3. 研修会・講座等の開催

- (1) 子育てサロン実施地区研修会・連絡会

開催日 / 平成30年9月25日(火)

内容 / スマイルサポーターとボランティアの意見交換

参加者 / 47名(福祉委員会、スマイルサポーター等)

※参加者の意見をうけ、若い年齢層(保護者)にターゲットを絞った子育て情報の発信としてインスタグラムを開設。48件の投稿を行った。

- (2) 研修会の実施(社協理事・監事・地区福祉委員会合同)

開催日 / 平成31年1月12日(土)

内容 / 第12回全国校区・小地域活動サミット in 豊中

場 所 / 豊中市文化芸術センター他

参加者 / 22名

(3) 小地域ネットワーク活動報告集会の開催

開催日 / 平成31年2月20日(水)

内 容 / ◆実践報告

①日根野地区西上支部福祉委員会のとりくみ

②佐野台地区のとりくみ

◆基調講演 「天気予報の見方・聞き方」

命を守る防災気象情報

講師：ADI 災害研究所 片平 敦 氏

参加者 / 299名(地区関係者・福祉事業関係者・一般市民含む)

(4) 小地域を支えるボランティア講座

より市民に近いところで開催できるように、出張講座として行えるようにメニュー表の整備などを行った。

日時	地区	内容
5月10日(木)	南泉ヶ丘支部	社会福祉協議会について
5月16日(水)	長滝地区	小地域ネットワーク活動について
10月1日(月)	見出住宅支部	小地域ネットワーク活動について
10月18日(木)	旭町支部	災害ボランティアセンターについて

(5) 学校における福祉教育への協力

日時	学校	対象	内容
10月25日(木)	第三小学校	1・2年生	アイマスク体験学習
		3・4年生	車イス体験学習
		5・6年生	認知症サポーター養成講座
11月12日(月)	第二小学校	3年生	車イス体験学習
11月27日(火)	上之郷小学校	3年生	車イス体験学習・障がい理解
11月30日(金)	第一小学校	6年生	高齢者疑似体験学習
2月5日(火)	佐野台小学校	6年生	高齢者疑似体験学習・社協とは
2月12日(火)	日根野小学校	3年生	車イス体験学習
2月21日(木)	中央小学校	6年生	高齢者福祉について・社協とは

4. 小地域ネットワーク活動の実績

《個別訪問活動》

項目 支部	ネット数 (世帯)	月1回以上の定期的な訪問			延べ 訪問回数 (回)	延べ 訪問人数 (人)	登録協 力員数
		65歳以上 独居高齢者	65歳以上 高齢者世帯	その他 障がい者他			
日新地区	182	175	0	7	2,225	5,914	62
佐野台地区	212	164	46	2	11,635	14,202	132
北中地区	272	271	0	1	3,249	8,035	68
三小地区	97	86	6	5	2,419	4,316	76
末広地区	63	60	2	1	1,105	2,279	103
一小地区	186	184	0	2	3,025	5,530	176
長滝地区	65	55	5	5	1,550	3,298	87
上之郷地区	60	51	8	1	960	1,096	106
大土地地区	48	43	5	0	564	944	54
長坂地区	239	207	21	11	5,400	10,636	145
日根野地区	171	154	17	0	2,292	3,674	215
南中地区	163	163	0	0	2,255	4,471	79
中央地区	211	209	1	1	4,071	7,126	123
二小地区	157	155	1	2	3,425	7,576	155
合計	2,126	1,977	112	38	44,175	79,097	1,581

《グループ支援活動》

項目 支部	実施回数 (計)	グループ支援活動内訳			参加者内訳	
		いきいきサロン	世代間交流会	子育てサロン	対象者	関係者
日新地区	169回	144回	3回	22回	2,506名	856名
佐野台地区	140回	130回	10回	0回	3,890名	1,008名
北中地区	41回	23回	8回	10回	1,985名	486名
三小地区	160回	80回	4回	76回	2,069名	768名
末広地区	98回	73回	3回	22回	1,600名	528名
一小地区	851回	749回	36回	66回	13,110名	4,938名
長滝地区	70回	50回	6回	14回	1,064名	724名
上之郷地区	64回	49回	5回	10回	820名	328名
大土地地区	46回	40回	6回	0回	1,302名	217名
長坂地区	273回	245回	28回	0回	5,004名	830名
日根野地区	303回	268回	13回	22回	4,616名	1,065名

項目 支部	実施回数 (計)	グループ支援活動内訳			参加者内訳	
		いきいきカブ	世代間交流会	子育てサロン	対象者	関係者
南 中 地 区	98 回	65 回	22 回	11 回	1,500 名	618 名
中 央 地 区	168 回	111 回	4 回	53 回	1,847 名	742 名
二 小 地 区	450 回	394 回	35 回	21 回	5,985 名	1,302 名
合 計	2,931 回	2,421 回	183 回	327 回	47,298 名	14,410 名

5. 地域の暮らしを話す会の実施

地区	日 時	場 所	人数
日 新	11 月 18 日 (日) 13:00～	上瓦屋町会館	31 名
佐野台	9 月 22 日 (土) 19:00～	佐野台集会所	31 名
北 中	11 月 16 日 (金) 19:30～	鶴原町会館	25 名
三 小	9 月 15 日 (土) 10:00～	旭町会館	12 名
末 広	12 月 13 日 (木) 19:00～	東羽倉崎南町集会所	35 名
一 小	2 月 15 日 (金) 19:00～	野出町会館	41 名
長 滝	12 月 5 日 (水) 19:00～	長滝第一町内会館	39 名
上之郷	10 月 30 日 (火) 19:00～	上之郷小学校多目的室	19 名
大 土	12 月 8 日 (土) 19:00～	土丸町会館	33 名
長 坂	10 月 16 日 (火) 19:00～	次世代育成地域交流センター	35 名
日根野	11 月 17 日 (土) 19:00～	日根野町会館	38 名
南 中	11 月 5 日 (月) 19:00～	南部市民交流センター	22 名
中 央	11 月 10 日 (土) 10:00～	松風台自治会館	11 名
二 小	10 月 26 日 (金) 19:00～	高松総合会館	14 名

延べ参加者 386 名

6. 地域福祉活動計画の推進

- (1) 地域福祉活動計画推進委員会の開催 1 回

7. 生活支援体制整備事業の推進

- (1) 市民への啓発

市民を対象に事業の目的や取り組みの方向性、生活支援コーディネーターの役割等を啓発した。

- ①コミュニティカフェ実施主体連絡会 40 名
- ②地域支えあい学習会 17 名
- ③平成 30 年度小地域ネットワーク活動報告集会 299 名
- ④大土地区地域の暮らしを話す会 33 名
- ⑤おたがいさまの会協力会員連絡会 6 名

(2) 地域交流カフェ活動実施主体連絡会の開催

開催日 / 平成 30 年 10 月 23 日 (火)

内 容 / 「地域における居場所づくり活動の意義」
グループワーク (情報交換)

参加者 / 40 名

(3) 地域支えあい学習会の開催

開催日 / 平成 31 年 2 月 25 日 (月)

内 容 / ①『これからの支えあいの地域づくり』
財団法人さわやか福祉財団 翁川由希 氏
②泉佐野市の取り組みについて
③意見交換

参加者 / 17 名

(4) 各種会議への参画

①生活支援体制整備事業事務局会議 (担当者打ち合わせ会議含む)

②その他の会議

地域福祉計画推進審議会・地域福祉活動計画推進委員会、地域福祉計画庁内検討会議、地区福祉委員会連絡会、社協地区担当者会議、地区担当者連携全体会議、エリア会議、地域の絆づくり担当者会議、CSW 連絡会議、医療介護連携事業事務局会議、地域ケア全体会議、福祉避難所ワーキング

〔3〕災害に強い街づくり事業の推進

地域福祉活動支援の一環として、必要に応じて情報提供や相談支援を行った。

被災地支援活動として、6 月に発生した大阪北部地震の際の被災地社協への運営支援者及び職員応援派遣、7 月に発生した豪雨災害の被災地である岡山県倉敷市へのボランティアバスの運行を実施した。

9 月には台風 21 号による被害が本市においても全域に広がり、本会に災害ボランティアセンターを開設し運営を行なった。落ちた瓦の運搬等、被災した市民からのニーズを受け付け、全国からボランティアを募集し被災者支援を行った。また、泉佐野市との協議により被災地ボランティア活動支援事業を新たに実施した。

1. 災害時図上訓練用マップの提供 0 地区

2. 自主防災会組織等への活動支援・出席等

防災関係相談支援：延 183 件

訓練・会議等出席状況

開催日	地域	内容
7 月 21 日(土)	西佐野台	絆づくり登録制度説明
11 月 4 日(日)	市域全体	大防災訓練に参加
1 月 19 日(土)	新長滝	絆づくり登録制度説明
3 月 17 日(土)	新長滝	個別計画作成について説明

3. 災害ボランティア事前登録事業

(1) 事前登録事業 登録者 28名

(2) 講習会・訓練等の実施

①ボランティアバス実施の案内

②災害ボランティアセンターの開設案内

4. 泉佐野市安心生活創造推進事業 生活課題調整・検討会議の実施

開催回数 5回 参加機関 4機関

5. ボランティアバスの実施

①事前説明会

開催日 / 8月29日(水) 19時00分～20時30分

場所 / 社会福祉センター 大会議室

内容 / ボランティアバス事前説明

参加者 / 18名

②ボランティアバス

日時 / 9月2日(日) 6時20分発～21時20分着

(活動は11時～15時)

活動先 / 岡山県倉敷市呉妹サテライト

参加者 / 22名

6. 他市町村災害ボランティアセンターへの応援派遣

[運営支援者派遣]

吹田市社協 6月21日～27日(7日間) 1名

[職員応援派遣]

派遣先	派遣日	派遣のべ人数
高槻市社会福祉協議会	6/28,7/1,7/3	4名
吹田市社会福祉協議会	6/28,6/29,7/3	4名
箕面市社会福祉協議会	7/2	1名
茨木市社会福祉協議会	7/11,7/12,7/15	3名

[災害支援用資材の貸出]

支援先	品目	数量
高槻市社会福祉協議会	軽トラック	1台
	ヘルメット	40個

7. 災害ボランティアセンターの開設・運営

(1) 活動実績

開所日時 / 9月6日(金)～9月24日(日)

9月18日～21日はボランティア受付を休止

(ニーズ受付のみ実施)

ニーズ受付数 / 177件 活動件数 / 145件

ボランティア受付数 / 累計のべ202人

ボランティア実人数 / 112 人
 ボランティア活動者数 / 累計のべ 481 人

(2) その他

①Facebook ページの開設

②支援金の受け入れ のべ 5 件 合計 154,254 円

8. 被災地支援ボランティア助成事業

(1) 助成対象者数 / 17 名

(2) 助成金額 / 89,100 円

〔4〕 ボランティアセンター事業の推進

ボランティアセンター運営委員会により、ボランティアセンターの運営及びボランティア講座・研修会やイベントの検討、開催を行った。また新規ボランティア発掘のために、ボランティアフェスティバルの開催、専門的なボランティア活動への啓発や新規ボランティア登録発掘のためにボランティア入門講座～メンタルサポート編～を開催した。

また、5 名のボランティアアドバイザーがボランティアの相談にのり、施設（団体）との調整役として活動した。

1. 各種会議の開催

(1) ボランティアセンター運営委員会の開催 4 回

(2) ボランティアアドバイザー連絡会の開催（サロン開催時） 12 回

(3) 登録ボランティアグループ連絡会の開催 2 回

2. サロン・ド・ボランティアの開設とボランティア活動のコーディネート

(1) 個人登録ボランティア

毎月開催のサロン・ド・ボランティアにおいてボランティア活動のコーディネートを行った。本年度の3月末の登録ボランティアは145名、延べ活動人数は1,528名である。内訳は表のとおり。

分野	施設名	活動内容	延べ活動者数
保 育	木馬園	一時保育	57 名
高齢者	幸テイク・ビズセンター	話し相手、レクリエーション補助	5 名
	泉ヶ丘園	外出付添、レクリエーション補助	39 名
	アムリタ	話し相手、レクリエーション補助	65 名
高齢者	グループホーム泉州	レクリエーション補助	75 名
	暢楽荘	レクリエーション補助	74 名
	犬鳴山荘	レクリエーション補助	28 名
	エルダーケア	レクリエーション補助	296 名
	栄公苑	レクリエーション補助	166 名
	ラポート	レクリエーション補助	45 名
	ホライズン	レクリエーション補助	55 名

	施設名	活動内容	延べ活動者数
障がい者 (児)	スポーツ教室	スポーツ介助	64名
	ぎんなん	作業補助	16名
	ふ・ふ・ふ	作業補助	91名
	ベルカント	作業補助	2名
	ささゆり作業所	イベント手伝い	23名
	いいね	レクリエーション補助	21名
	花筏	作業補助	40名
	ルリエ	レクリエーション補助	14名
社 協	声のボランティア	市報朗読	160名
	行事	イベント手伝い	74名
	サロン・ト・ボランティア	サロン喫茶	118名

(2) グループ登録ボランティア

ボランティアグループの育成・支援をするためにボランティアセンターや福祉センターの会議室や機材等の貸し出しを行い、また、社協事業において登録グループに協力を求め、外部からの派遣依頼に対しグループの紹介を行った。

3月末の登録ボランティアグループは12グループである。

ボランティアセンターからの活動依頼及び紹介による活動実績は下記のとおり。

グループ名	活動内容	活動回数	延べ活動者数
手話サークル いちよう	手話通訳（社協チャリティバザー）	1回	3名
	手話通訳（社協ふれあいクリスマス会）	1回	2名
	手話通訳（ボランティアフェスティバル）	1回	8名
	手話通訳（社協ふれあい大運動会）	1回	2名
リフォーム なでしこ	社協ふれあいクリスマス会プレゼント制作	34回	142名
食生活改善推 進協議会	チャリティバザー準備日カレー調理	1回	10名
	ボランティアフェスティバル手伝い	1回	9名

3. 講座及び研修会の開催

(1) ボランティア入門講座～メンタルサポート編～

精神障がいに対するボランティア活動の需要が高まる中、特性を正しく理解したうえで活動する必要性がある為、ボランティア入門講座のメンタルサポート編として3日間開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数
8月21日	シャッピー ハウス	精神疾患の理解	10名
8月23日		当事者やボランティアの話	9名
8月24日		病院・作業所・相談施設見学・茶話会	8名

(2) ボランティア研修

登録ボランティアの資質向上と親睦を図ることを目的として開催した。

開催日 / 平成30年8月22日(水)
 内 容 / 健康体操
 講 師 / 栄公苑職員
 場 所 / 社会福祉センター2階 大会議室
 参加者 / 34名

4. 居場所と交流機会の提供

(1) シャッピー喫茶の運営

「誰もが立場に関わらず、ふらっと立ち寄れる空間づくり」を目的とし、実施した。飲み物を飲まずとも読書や打ち合わせでも利用する方が増えている。

フリードリンク / 100円
 年間収入 / 114,560円 延べ利用者数 / 1,145名

(2) ほっとサロンの開催

年齢、性別、障がいがあるなしに関係なく誰でもが参加でき、色んな人と出会い、仲間づくりや、社会参加のきっかけになることを目指して実施する。

年10回 延べ参加者数 / 44名

(3) サテライト事務所「シャッピーハウス」の開設

平成30年5月14日より南海電鉄泉佐野駅徒歩圏内にサテライト事務所「シャッピーハウス」を開設した。

① 喫茶ルームの運営

年間収入 / 61,085円 延べ利用者数 / 610名

② シャッピーハウス掘り出し市の開催

第1回 7月26日(木) 出店数 10区画
 第2回 10月11日(木) 出店数 14区画
 第3回 3月28日(木) 出店数 13区画

(4) チャリティーショップ (社会福祉センター・シャッピーハウス)

年間売上 合計 61,050円 (善意銀行収入)

5. 各種行事

(1) 障がい児者ふれあい交流会

障がいのある人もない人も同じ地域住民として、共に楽しむことのできるスポーツであるボッチャを通じて相互の理解と交流を図ることによって障がいへの理解を促進し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めることを目的として開催した。

開催日 / 平成 30 年 9 月 1 日 (土)
内 容 / ボッチャ
場 所 / JCOM末広体育館 大体育室
参加者 / 対象者・同伴者 46 名・ボランティア等 14 名 合計 60 名

(2) ボッチャスクール

2020 年開催の東京パラリンピックでボッチャが行われるにあたり、障がいのある人もない人も同じ地域住民として、共に楽しむことのできるスポーツであるボッチャを通じて相互の理解と交流を図ることによって障がい者への理解を促進し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めることを目的として開催した。

開催日 / 平成 30 年 8 月 29 日 (水)・31 日 (金)
内 容 / ボッチャ
場 所 / JCOM末広体育館 小体育室
協力者 / 対象者・同伴者 35 名・ボランティア等 7 名 合計 42 名

(3) 第 40 回 社協チャリティバザー

社会福祉関係団体及び協力団体・グループ・市民の協力を得て、あらゆる品物を市価の半額程度で一般市民に販売、売上金はすべて市民の福祉活動のために使用する。 売上金 1,389,058 円 (昨年比 +117,802 円)

開催日 / 平成 30 年 12 月 9 日 (日)
内 容 / 物品販売・オークション等
場 所 / エブノ泉の森ホール 2 階
協力者 / 前日 値付け 80 名
当日 各種団体・ボランティア・社協関係者/合計 110 名

(4) 第 40 回 社協ふれあいクリスマス会

障がいをもつ児童や家庭児童相談員や教育委員会が関わっている子どもを対象に開催した。

開催日 / 平成 30 年 12 月 15 日 (土)
内 容 / 大道芸・人形劇と紙芝居
場 所 / 泉の森ホール レセプションホール
参加者 / 対象児童 55 名・同伴者 92 名・ボランティア 53 名
合計 200 名

(5) 第 7 回 ボランティアフェスティバル

1 人でも多くの人たちにボランティア活動について関心を持っていただくとともに、潜在的なボランティアを発掘することと、ボランティア相互の交流を図ることを目的に開催した。

開催日 / 平成 30 年 6 月 2 日 (土) 11 時 00 分～14 時 00 分
場 所 / いこらも～る泉佐野臨時駐車場
参加者 / 一般参加者 300 名、出演者 101 名、ボランティア 90 名、
その他団体 50 名 合計 541 名

6. 善意銀行 寄託・払い出し状況

寄託件数	24件
寄託金額	1,575,550円
寄託物品	日用雑貨品一式、じゃがいも

払い出し件数	10件	
払い出し金	① 障がい児のためのサマースクール	50,324 円
	② 社協だより発刊	331,000 円
	③ ボランティアフェスティバル開催諸費	397,830 円
	④ チャリティバザー開催諸費	131,440 円
	⑤ ふれあいクリスマス会開催諸費	52,540 円
	⑥ 障害児者ふれあい交流会	20,216 円
	⑦ 心配ごと相談事業	162,733 円
	⑧ 災害に強いまちづくり事業	6,508 円
	⑨ 災害ボランティアバス助成	274,075 円
	⑩ 災害ボランティアセンター助成	180,260 円
	合計	1,606,926 円

〔5〕 総合相談事業の推進

『心配ごと相談所』の相談実績は以下のとおりで、内容に応じて関係機関等と連携し、問題解決の調整を行った。

1. 心配ごと相談所の開設

相談員数	13名
開設延日数	43日（うち出張相談1日）
出席延相談員数	85名
相談者数	23名（うち出張相談3名）
相談件数	24件（うち出張相談3件）
相談員連絡会議	4月12日(木) 社協2階健康相談室
出張相談	10月11日(木) 相談員8名 いこらも～る泉佐野

※相談状況

内容 対象者	家族関係	人間の 関係	病 気	仕 事	法 律	金 銭 関 係	そ の 他	計
高 齢 者	2	4	0	0	1	1	4	12
障 が い 者	0	0	1	0	0	0	0	1
子育て中の親	3	0	0	0	0	0	1	4
そ の 他	4	0	0	1	0	0	2	7
計	9	4	1	1	1	1	7	24

※対応

傾聴	11件
助言	4件
他機関紹介	9件（地域包括支援センター1件、CSW1件、民生委員1件 公証役場2件、基幹相談支援センターあいと1件、 税務署1件、司法書士1件、市の法律相談1件）

〔6〕コミュニティソーシャルワーク推進事業

委託先の各法人CSWと緊密な連携をとりながらCSW事業の体制強化とネットワークの構築を行った。昨年度と比べ相談者数（実人数）は減ったものの延べ対応件数は増加しており、相談者一人に対する対応が多様化している。

CSW連絡会にて各CSWの全ケースを共有し、支援方針を1人で悩まないような体制をとっている。

1. 各種会議の開催

(1) 管理者担当者合同連絡会の開催	1回
(2) CSW・地区担当者合同会議	1回
(3) CSW連絡会議の開催	12回

2. 地区担当CSW活動支援（統括CSW）

【地区担当CSW】

社協（新池中校区）・水平会（第三中校区）・泉ヶ丘福祉会（佐野中校区）
常茂恵会（長南中校区・日根野中校区）

(1) 地区CSW後方支援（個別ケース等）	87件
(2) 地区CSWへのつなぎ	21件
(3) ケース検討会議	8件
(4) ネットワーク構築のための会議出席 （ケース検討会議を除く）	41件

3. 新池中中学校区活動実績（個別相談）

(1) 対象者別

相談対象者	延べ件数	実件数
高齢者	211	32
1人暮らし	100	17
高齢者のみ世帯	34	9
その他高齢者	77	6
障がい者	612	10
身体障がい者	0	0
知的障がい者	22	1
精神障がい者	590	9

相談対象者	延べ件数	実件数
子育て中の親子	51	3
一人親家庭の親子	133	4
青少年	5	1
DV被害者	0	0
ホームレス	22	1
外国人（中国帰国者を含む）	0	0
その他	101	13
低収入（無職含む）	7	1
引きこもり	26	2
障がい疑い(疾病疑い)	0	0
DV加害者、虐待	12	1
その他	56	9
合 計	1,135	64

(2) 相談内容別

相談内容	対応延べ件数
福祉制度・サービスに関する相談	820
生活に関する身近な相談	852
健康・医療に関する相談	366
生活費に関する相談	221
就労に関する相談	203
財産管理・権利擁護に関する相談	50
多重債務に関する相談	25
DV・虐待に関する相談	18
地域福祉・ボランティアに関する相談	138
住宅に関する相談	51
子育て・子どもの教育に関する相談	85
その他	186
近隣トラブル（人間関係）	85
家族関係	101
その他	0
合 計	3,015

4. 社会参加ステップ事業

障がいや疾病その他の理由により社会参加の機会が少ない人に対し、孤立を解消し、作業や交流を通じて生活のリズムを整え、就労や定期的なサービス利用等、社会参加のきっかけとなるような通える場として軽作業等を行うこともできる「居場所」を提供した。

- (1) 登録者数 1名
- (2) 来所実績 延べ2日間

〔7〕在宅福祉活動の推進

公的サービスで支援できない在宅要援護者の生活上の困りごとを支援するために、『有償協力員派遣事業』（おたがいさまの会）を行い、病院の通院付添いや、入院時の買物・洗濯などの支援、墓掃除など多様なニーズに対して支援を行った。

その他、外出困難な高齢者や障がい者等に対して『福祉車両』及び『車椅子』の貸し出しを行った。

1. 有償協力員派遣事業「おたがいさまの会」

(1) 会員の登録状況

協力会員 / 23名 利用会員 / 43名

(2) 支援状況 延べ435時間

(3) 協力員連絡会の開催 2回

(4) 運営委員会の開催 1回

2. 福祉車両貸し出し

利用者数 9名 / 貸出回数 延べ52回

3. 車椅子貸し出し

利用者数 20名 / 貸出回数 延べ36回

〔8〕地域包括支援センター事業の推進

「高齢者が安心して地域で生活を送ることができる」ことを目的に各事業に取り組んだ。総合相談窓口として、本人・家族・他機関からの相談を受け、関係機関・多職種との連携支援を行った。

介護予防業務として、高齢者が要介護状態にならないように要支援者などに介護予防計画の作成や介護予防に関する講演会の開催し、地域からの希望テーマに合わせた出張講座などを実施したり、高齢者・家族を支援する地域の多職種、関係機関との会議や研修、支援を行った。

認知症施策総合推進事業として、認知症の人やその家族の方などが一息できる場としての認知症サポーター養成や、徘徊者を発見するシステム徘徊SOSネットワークの南泉州圏域に参画した。平成29年度から初期集中支援チーム事業とし医療・福祉の専門職種のチームを組み早期発見・治療の推進や相談を開始した。また、地域での認知症の理解や啓発にWAOいずみさのを開催した。

1. 支援の基盤整備

(1) 高齢者虐待早期発見・見守りネットワーク

会議	1回	参加機関	19機関
研修会	1回	参加者数	84名

高齢者虐待防止活動

高齢者虐待通報への対応件数	48件（うち「虐待あり」判断数30件）
個別ケース会議開催数	12回

(2) 多職種連携事業

参加機関	12機関
①代表者会議	2回
②事務局会議	12回
③研修会	

日時	内容	参加者数
2月22日(金)	I C T研修・多職種交流会	80名
3月25日(月)	第1回在宅医療・介護座談会	42名

2. 総合相談・権利擁護

(1) 相談状況

相談実人数		1,929名	
相談延べ件数（対応回数）		4,879件	
相談形態内訳	訪問	1,072	22.0%
	来所面接	614	12.6%
	電話	3,193	65.4%

(2) 相談内容

相談内容		件数	割合
介護保険関係	介護保険制度	613	8.0%
	ケアプラン	568	7.4%
	サービス	1,013	13.2%
	施設入所	255	3.3%
	小計	2,449	31.9%
介護保険関係以外の 福祉サービス	緊急通報装置など(福祉制度)	51	0.7%
	ボランティアなど(制度外)	59	0.7%
	小計	110	1.4%
医療・保健相談	保健予防	20	0.2%
	入退院など(医療)	674	8.8%
	小計	694	9.0%

相 談 内 容		件数	割合
家庭介護・介護者支援	認知症	849	11.0%
	身体介護	15	0.2%
	精神介護	91	1.2%
	家庭環境	878	11.4%
	小計	1,833	23.8%
権利擁護	成年後見制度など	124	1.6%
	財産・経済問題など	680	8.8%
	虐待関係	1,090	14.2%
	その他	28	0.4%
	小計	1,922	25.0%
その他生活上の相談	社会生活など	378	4.9%
	他	306	4.0%
	小計	684	8.9%
合 計		7,692	100%

(3) ブランチ型総合相談業務

委託事業所 5か所 年間相談件数 162件

- ・犬鳴在宅介護支援センター
- ・在宅介護支援センター 泉ヶ丘園
- ・在宅介護支援センター ホライズン
- ・在宅介護支援センター 和
- ・ラポート在宅介護支援センター

活動内容 高齢者の相談窓口 虐待・対応困難事例の支援

地域包括ケア会議・高齢者虐待防止ネットワーク会議への参加

3. 包括的・継続的ケアマネジメント

(1) 介護支援専門員に対する支援

ケアマネジャー支援件数 444件

(相談内容)

支援数	支援内訳 (延べ)				
	ケアマネジメント	社会資源 紹介	主治医 連携	虐待防止	その他
500	81	12	5	104	298

(2) 事業所向け研修会

開催日	内 容	参加者数
6月14日 (木)	法定外研修「地域包括ケアシステムの構築にあたって介護支援専門員に求められること」	57名
7月13日 (金)	事例検討会	35名

開催日	内 容	参加者数
7月20日 (金)	勉強会「介護予防ケアプランの基本的な作成方法」	39名
11月16日 (金)	研修「自立支援ケアマネジメントの実践」	65名
1月17日 (金)	事例検討会	30名
3月13日 (水)	介護予防マネジメントと日常生活支援総合事業の説明会	71名

(3) 介護支援専門員連絡会活動支援

総会 1回 幹事会 5回
6市町村ケアマネジャー合同連絡会 4回

4. 介護予防マネジメント

要支援者・事業対象者に対するケアマネジメント

- (1) 介護予防サービス計画作成数 6,907件
(内訳) 包括作成 512件 委託件数 6,395件
- (2) 介護予防ケアマネジメント作成数 5,594件
(内訳) 包括作成 673件 委託件数 4,921件

5. 出張講座・介護予防教室等

(1) 介護予防・認知症・高齢者虐待・消費者被害などに関する出張講座

29回実施 延べ720名

(2) 介護予防教室

開催日 / 平成30年10月30日(火) 午後1時～2時30分
場 所 / 社会福祉センター 2階 大会議室
内 容 / 講演「誤嚥性肺炎予防」
講師 泉佐野泉南歯科医師会 浜西 伸児先生
大阪府歯科衛生士会 大森 かずみ先生
参加者 / 37名

6. 平成30年度介護の日 記念講演会

開催日 / 平成30年11月11日(日) 午後1時～2時30分
場 所 / エブノ泉の森ホール2階会議室大
内 容 / 講演「終活～自分で決める人生の終い方～」
講 師 / 淀川キリスト教病院 療養支援課主任看護課長 高澤 洋子氏
参加者 / 69名

7. 介護支援サポーター事業

登録申請者数	登録者数	活動人数 (実数)	活動人数 (延べ)	活動回数 (延べ)
17名	70名	13名	97名	439回

(1) 介護支援サポーター交流会

開催日	内 容	参加者数
9月3日(月)	受け入れのポイント講座	9名
9月12日(火)	第1回介護支援サポーター交流会	19名 (うち7施設9名)
3月7日(木)	第2回介護支援サポーター交流会	27名 (うち5施設5名)

8. 認知症施策総合推進事業

(1) 介護者家族のつどい

8回開催 24名参加 13時30分～15時30分 社会福祉センター1階

(2) 認知症ケアパス活用と充実 平成30年度刷新

(3) 認知症サポーター養成講座

- ・開催回数 14回 養成サポーター数 518名 延べ 6,363名
うち、キッズサポーター養成講座(中央小学校・第三小学校) 133名
- ・キッズサポーター養成講座用テキスト作成

(4) 徘徊SOSネットワーク事業

- ・泉州圏域市町村徘徊高齢者等ネットワーク会議への参画
- ・事業普及啓発のチラシ配布
- ・事業周知の出張講座

(5) 初期集中支援チーム事業

- ・事業の周知
- ・支援対象者7名 チーム員会議11回

(6) WAO いずみさの

月 日	開催地区	参加者数
11月29日(木)	末広校区	37名
12月4日(火)	上之郷校区	24名

〔9〕 基幹相談支援センター事業の推進

総合的・専門的な相談支援の必要な相談が増えている。特に専門相談機関との連携については自立支援協議会の専門部会で取り上げ、相談支援事業所のみならずサービス提供事業所向けに研修会・勉強会を開催し意識づけを図った。

「権利擁護」の支援として社協の特性を活かし、障がい者虐待事例への対応や80・50問題を視野に入れ、地域包括支援センターやいきいきネット相談支援センターと共に個別支援会議等に参加し、問題の共有を図った。

また、啓発活動の一環として、障がいのあるなし、年齢に関係なく参加できる「社協ふれあい大運動会」や小学校に出向いて「車いす体験」出張講座を開催した。さらに、障がい者週間や社協イベントにあわせて啓発用冊子等を活用し障がいや障がい者(児)の理解について啓発を行った。

1. 基幹相談支援センター業務

(1) 総合相談とスクリーニング機能

身体障がい、知的障がい及び精神障がい等に対応した総合相談窓口の設置並びに特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所への適切なつなぎを行った。

●相談状況

相談実人数		346名
相談延べ件数（対応回数）		6,588件
相談形態内訳	訪問	408件
	来所面接	452件
	出張相談	5件
	同行	65件
	電話	2,030件
	メール	12件
	関係機関連絡調整	3,399件
	個別支援会議	188件
	その他	29件

●相談内容延べ件数：7,779件

相談内容	延べ件数
福祉サービスの利用等	3,880件
障がいや病状の理解	450件
健康・医療	483件
不安の解消・情緒安定	572件
保育・教育	111件
家族関係・人間関係	289件
家計・経済	254件
生活技術	23件
就労	368件
社会参加・余暇活動	93件
権利擁護	990件
その他	266件

(2) 相談支援事業所に対する後方支援（専門相談機能） 延べ591件

(3) 自立支援協議会の事務局運営

事務局会議

11回

全体会・定例会・専門部会他会議の運営 16回
 啓発イベント（わ∞ねっとシンポジウム） 1回

「発達障がいの理解から支えあいの地域へ」

講師：大阪府発達障がい者地域支援センターアクトおおさか

(4) 事業所連絡会のコーディネート

開催日	内容	参加者数
12月19日 (水)	「気づきのきっかけ広げませんか？」 ～権利擁護部会～」	39名
2月21日 (木)	「発達障がいの理解から支えあいの地域へ」 講師：大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか	36名

(5) 相談支援体制強化（会議等の参加）

「小児在宅医療ケア連絡会」「泉佐野市相談事業連絡会」「ジョブネット泉州南」「強度行動障がい地域連携モデル事業（大阪府）」「精神保健福祉関係機関職員連絡会」「泉南ブロック進路指導関係連絡会」「泉南支援学校進路懇談会」

(6) 啓発活動

- ・福祉教育（車いす体験） 4小学校に出張
- ・アイマスク体験 1小学校に出張

(7) 講師派遣

開催日	内容
5月30日(水)	民生委員児童委員協議会障害部会 「障がい者への接し方について」
10月1日(月)	日新地区福祉委員会「障がい理解について」
11月16日(金)	一小地区福祉委員会「みんなが一緒に暮らせるまち」
11月27日(火)	佐野台地区福祉委員推進委員・協力員 「障がいを正しく知ってサポートしましょう」

(8) 第1回社協ふれあい大運動会

幼児から高齢者まで障がいのある人もない人も多様な市民が関係団体や行政等の協力・支援のもと開催される運動会に共に参加することで、連携・支え合いを実感し、ノーマライゼーションの実現と誰もが安心して住み続けられる福祉のまちづくりに寄与することを目的に開催した。

開催日 / 平成31年3月16日（土）

場所 / JCOM末広体育館 大体育室

参加者 / 77名・ボランティア等スタッフ55名 合計132名

2. 障がい者虐待防止センター業務

通常業務の他、休日夜間対応の通報ダイヤルを設置し障がい者虐待に関する相談・通報を受付した。

- ・障がい者虐待通報受理件数 17件

	通報件数	対応継続	対応終結
泉佐野市	17件	3件	14件
田尻町	0件	0件	0件

・障害者虐待会議（レビュー会議）

泉佐野市 3回

田尻町 1回

3. 権利擁護支援センター業務

平成30年度は、金銭管理や成年後見制度の相談対応について、フロー図を用いて相談の流れを整理し、すべての職員が基本的な窓口対応ができるようなツールを作成した。

(1) 権利擁護に関する相談【内訳】

	訪問	来所	同行	電話	メール	個別支援会議	関係機関連携	その他(代行等)	合計
障がい者虐待	6	4	1	6	1	21	18	0	57
高齢者虐待	2	1	0	1	0	4	15	0	23
児童虐待	3	0	0	5	0	5	8	0	21
D V	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セルフネグレクト	0	0	0	1	0	0	0	0	1
障がいへの不理解・偏見	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バリアフリーへの無配慮	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域トラブル	0	0	0	1	0	0	0	0	1
差別的な扱い	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金銭管理・手続き	7	5	2	11	3	1	20	1	50
日常生活自立支援事業	0	2	0	1	0	0	8	1	12
成年後見制度	5	7	3	13	0	2	16	0	46
消費者被害	1	0	0	1	0	0	1	0	3
合計	24	19	6	40	4	33	86	2	214

(2) センター会議

12回

(3) 法律相談

弁護士による個別相談

68件

(4) 市民後見人関係：受任者3名

- ・受任者の相談、書類提出支援など
- ・養成講座オリエンテーション広報
- ・基礎、実務講座の最終面接に参加

(5) 資料集作成「金銭管理・手続きの相談で困ったら」

4. 障害支援区分認定調査業務

障害福祉サービスを利用するために必要とされる支援の度合いを、全国一律の基準に基づき公平性と客観性の観点で調査業務を行った。

(1) 調査業務

	年間合計
更新調査数	207
新規調査数	166
区分変更	11
合計	384
うち市外（高石以南）	38

〔10〕 広報宣伝活動の推進と備品の貸し出し

社協機関紙「社協だより」を年6回発行し、社協活動をPRするとともにホームページ、ブログにより広く情報提供を行った。また、地域の福祉活動を応援するべく、社協備品の貸し出しを行った。

(1) 社協だよりの発行 年6回（5月・7月・9月・11月・1月・3月）

(2) 社協ホームページの運営 年間閲覧件数 延 58,480 件

〔11〕 日常生活自立支援事業の推進

判断能力の十分でない認知症高齢者や障がいのある方を対象に、契約によって、生活の相談に応じたり、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等のサービスを行うことで、自立した生活がおくれるよう支援を行っている。

なお、成年後見等開始の審判市長申立については、市と連携を図っている。

※ 契約・活動 件数

内 容	本事業の利用に関するもの			合 計	
	対象者 状況	認知症 高齢者等	知的 障がい者等		精神 障がい者等
活 動 件 数		320	546	957	1,823
新規契約件数		0	3	1	4
契 約 件 数		12	19	21	52

〔12〕 社会福祉協議会会員組織の充実と自主財源の強化

社協会員会費制度の継続加入を図り、各町内会・福祉委員会他、福祉関係団体の協力を得て、7,729,500円（昨年比+15,000円）の浄財が寄せられた。そのうちから、地域の福祉活動に利用していただく為、会員会費の50%を還付した。さらに、地区福祉委員会活動に10%還付した。

協賛会員制度については、300,000円の浄財が寄せられた。

1. 各地区・社協会員会費募集状況

一 小 地 区 1,537,000円

二小地区	540,000円
三小地区	722,000円
日新地区	1,135,000円
中央地区	400,000円
長滝地区	598,500円
北中地区	833,000円
南中地区	260,000円
長坂地区	368,000円
佐野台地区	576,000円
上之郷地区	250,000円
日根野地区	300,000円
末広地区	120,000円
大土地区	90,000円
合計	7,729,500円

2. 協賛会員会費募集状況 (1口 10,000円)

泉佐野市長生会連合会	社会福祉法人 いちよしの森
社会福祉法人 光会	社会福祉法人 常茂恵会
社会福祉法人 泉ヶ丘福祉会	社会福祉法人 水平会
社会福祉法人 犬鳴山	社会福祉法人 和泉の国
社会福祉法人 清光会	泉佐野地区 保護司会
社会福祉法人 来友会	泉佐野ルーテル保育園
社会福祉法人 アムリタ	社会福祉法人 あおい会
社会医療法人 栄公会	社会福祉法人 杉の子会
社会福祉法人 日新親友会	社会福祉法人 日根野福祉会
社会福祉法人 清和保育園	社会福祉法人 幸楽会
NPO法人 いきいきくらぶ	泉佐野ロータリークラブ
社会福祉法人 みやび	土丸町会
民生委員児童委員協議会	大木町内会
泉佐野商工会議所	大阪いずみ市民生活協同組合
いいね合同会社	日王株式会社

〔13〕 共同募金事業の推進

1. 赤い羽根共同募金運動

10月1日から12月31日にかけて赤い羽根共同募金運動として広く市民に協力を呼びかけ、戸別募金、街頭募金（8回）等を実施した。市内小中学校にも協力を依頼し小学校6校にて児童による募金活動が行われた。

募金額 2,587,187円（昨年比 -112,827円）

2. 歳末たすけあい運動

“地域でささえあうあったかい地域づくり”のスローガンにもとづき、「歳末たすけあい運動」を実施した。多くの浄財が寄せられ、ひとり暮らし高齢者の交流会や児童が書いた年賀状の送付などに配分をし、福祉の増進に役立たせていただいた。

募金件数 50件 募金額 1,160,264円（昨年比 -10,079円）
 払出金額 1,432,621円

〔14〕 低所得世帯への支援

低所得者世帯や高齢者・障がい者世帯、生計中心者が失業した世帯等に対して、大阪府生活福祉資金貸付の窓口として相談・申請を受け付けるとともに、必要に応じて生活困窮者自立相談支援機関や民生委員を紹介した。

相談件数	223件		
貸付種類	生活福祉資金 (総合支援資金を除く)	総合支援資金 ※臨時特例つなぎ資金含む	緊急小口資金
申込件数	9件	0件	2件
申込金額	4,911,000円	0円	200,000円

〔15〕 市立社会福祉センターの管理運営

社会福祉センターの管理運営業務を受託し、施設の環境を整備するとともに利用者が快適に利用できるよう、設備機器の保守点検を委託契約した。

1. 高齢者・障がい者交流会の開催

開催日	研修会名	参加者数
9月14日 (金)	昔なつかし交流会 「知って得するええ話し」地域包括支援センター職員 「みんなが知ってる懐かしソング」J&Bによる生演奏 「昔懐かし思い出体験」 輪ゴム鉄砲・輪投げ・じょうろボウリング・綿菓子など 社会福祉センター2階 大会議室	70名
3月4日 (月)	平成最後のふれあい交流会 「懐かしの映像と音楽」特技ボランティア 石川 潔氏 泉佐野市出前講座「かがやき」 「健康づくりのひと工夫」健康推進課職員 社会福祉センター2階 大会議室	74名

2. 福祉センター利用状況

大広間利用者数	娯楽室利用者数	福祉センター ロビー (健康機器)
4,589 名	8,520 名	717 名

※大広間 詩吟・大正琴・健康麻雀・カラオケ・華道・ソロバンのクラブが使用

※娯楽室 囲碁・将棋のクラブが使用

会議室利用件数

	小会議室		大会議室		合計	
午前	131 件	2,071 名	150 件	1,839 名	281 件	3,910 名
午後	210 件	3,642 名	192 件	6,881 名	402 件	10,523 名
夜間	125 件	2,465 名	10 件	440 名	135 件	2,905 名
合計	466 件	8,178 名	352 件	9,160 名	818 件	17,338 名

扇湯シャトルバス運行日数及び利用人数

運行日数 152 日

扇湯行 994 名

福祉センター行 873 名